

## 当日配布資料 4

### 田中正造没後100年記念シンポジウム

#### 田中正造と内村鑑三、そして朝鮮

宇都宮大学国際学部  
丁貴連

### プロローグ

NHK「日本人は何を考えてきたのか」全12シリーズ

第3回：森と水と共に生きる

ー田中正造と南方熊楠ー

・韓国で田中正造の思想に関心が寄せられている

★金泰昌(公共哲学共働研究所所長)

・2009年、「第1次日韓哲学フォーラム」を主催

(新井奥彦・田中正造・柳永模・咸錫憲)

↓

内村鑑三

★田中正造と韓国をつなぐ存在

### I. 韓国における内村鑑三の評価

#### 1. 植民地下の朝鮮人の弟子、読者の思い

##### ①1923年1月5日、読者の年賀状

(略)小生病中先生の著書を見て一読するや、真信仰、真安慰を得たことの感謝は何等物質に類無しと切に感謝します。死んだ霊が復活し、死に瀕した肉体が全く甦生を得たこと、而して此れ回想すれば涙自然と流れます。(略)先生、小生は先達まで日本国を「不共戴天」の敵とべし排日党の一人でありました。鉄石の如き堅き心を溶すべき何者でもなかったのです。然るに先生の其の深い信仰に感動され、先生を以て極東のエレミアとして敬慕致します。そして小生の日本観は一変したのです。故に先生委が曾て言はれしが如く、日鮮(ママ)の関係は十字架救贖の真理以外他に道なしと切に感覚致します。

#### ②1930年、弟子・金教臣の言葉

↓(1901~1945)

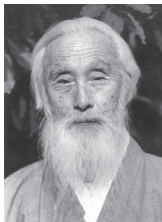
1927年東京師範学校卒業

教育者・韓国無教会の祖

「内村鑑三が何でなかったとしても、日本の真正な愛国者であるといふ事丈けは初期から之を看取して居た。自然科学者の精神に立脚した聖書研究と全国民から国賊呼ばわりされる誹謗中に埋没された半生余りの生涯中にも尚ほ祖国に日本を棄て得ざる愛国者の熱血、之が何よりも私を牽引した。朝鮮に万一彼の様な愛国者が出現したならば注ぎだして捧げたであろう敬慕の念を、全く彼に進呈したのであった」

#### ③1968年1月、来日した際の弟子・咸錫憲の言葉

↓1901~1989



1928年東京師範学校卒業  
宗教思想家、社会運動家  
シアル(種子)思想

「韓国が三十六年間日本の植民地にされたことは不幸だったが、私たちが内村鑑三という先生を与えられたことは、その不幸を帳消しして、なおおつりを出さねばならぬ」。

### I. 韓国における内村鑑三の評価

#### 2、著者、論文

1940.5月、咸錫憲・金教臣『内村先生と朝鮮』

#### 3、記念講演会

1940.3.13「内村鑑三先生10周年記念講演会」

#### 4、翻訳

1976/2001『内村鑑三全集』全20巻刊行

#### 5、無教会キリスト教の活動

6、多数の研究者が内村の信仰と思想を研究

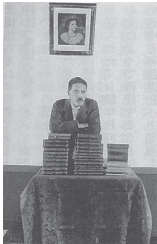
## Ⅱ．内村鑑三と田中正造

- 1、不敬事件(1891年1月9日)
- 2、ジャーナリストとして、  
日本社会の不義・不正に筆誅を加える  
1897年3月16日、『万朝報』の英文欄に  
「山について悪聞四題」を掲載  
↓  
京都の本願寺の大本山  
足尾銅山  
上野の播鉢山  
教科書出版社の贈収賄の山賊たち

## Ⅱ．内村鑑三と田中正造

- 3、足尾銅山鉍毒問題  
1901.4.21、足利の友愛義団に招かれて講演  
4.22、鉍毒被害地を視察、「無能政府」を掲載  
↓鉍毒事件につき  
政府の対応の悪さを指摘  
4.25～30、「鉍毒地巡礼記」を4回連載  
↓天災ではなく、  
古川市兵衛が起こした人災である

- 5.21、足尾問題につき「鉍毒調査有志会」結成
- 6.21から、内村鑑三を主査として調査が行われる。
- 7.20、幸徳秋水らと「理想団」を結成
- 11.1、東京キリスト青年会館で足尾鉍毒演説会  
↓聖書研究会を通じて  
学生たちに鉍毒地視察を呼びかける



- ★後に文学者として名を馳せる正宗白鳥、志賀直哉、有島武郎、小山内薫、長与善郎、魚住芹蘆、国木田独歩等に大きな影響を及ぼす。

- ↓1907年2月、独歩社より  
『近事画報』臨時増刊「足尾銅山暴動画報」

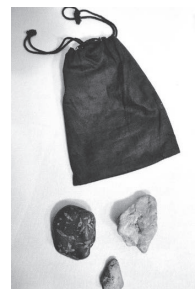
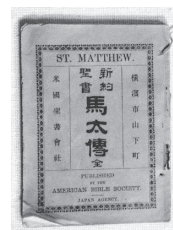


- 11.29、桐生教会訪問の帰途、被害地に立ち寄り
- 12.12、青年会館で足尾鉍毒演説会  
↓古川市兵衛に  
「ポーコを加えよ」と叫ぶ



- 12.27、800余人の学生からなる鉍毒地視察旅行実施  
↓内村は学生に向かって  
「鐘の如き声、風の如き弁」を叫んだ
- 1902.4. 2、鉍毒問題解決演説会に出席  
以後、聖書の研究に打ち込む

- 4、田中正造との交友  
・田中は死去の際、  
「新約聖書、菅笠、日記帳、鼻紙、石ころ少々」を残  
↓獄中の田中に  
聖書の差し入れをしたのは内村



#### 5、鉅毒問題に対する内村の思想

「足尾の鉅毒問題は、単なる物質的な鉅毒ではなく、それよりももっと激甚な毒である古河市兵衛のみだらな心の欲望によるとみていた。それが、鉅毒反対運動にかかわる中で、反対運動の実践家にも被害地の農民にも、欲望による腐敗堕落のあることを認めた。このことが、社会の改良には、社会自体の改良よりも、まず個人の改良が優先され、それには聖書によるしかないとの思いを深めたのだった」(鈴木範久『内村鑑三』岩波新書、1984年)

⇒21世紀の現在、私たちの暮らしは？

グローバルな資本主義が作り出す「際限のない欲望」と「新たな貧困」に直面している。

### Ⅲ. 内村鑑三と朝鮮

#### 1、朝鮮人キリスト者との出会い

1906.5、金貞植(東京朝鮮基督教青年会総務)

1907、朝鮮キリスト教界—平壤の大復興会



↓「幸福なる朝鮮」  
抽象的な「国家」から  
具体的な朝鮮人キ  
リスト・民族へと関心が  
変わる

1909.12、「朝鮮国と日本国—東洋平和の夢」

1910.9、「領土と靈魂」:国を奪たりとて喜ぶ民あり、  
国を失ひたりと悲む民あり、然れども喜ぶ者は一時  
にして悲む者も亦一時なり、

1911.12、「105人事件」(寺内総督暗殺陰謀事件)の  
真相を世界に知らせるべく、『神戸ジャパニク  
ル』誌に情報提供

1915.5、「教会と聖書—朝鮮人に聖書研究を勧むる  
の辞」

1917.4、箱根で開かれた朝鮮基督教修養会で「相互  
の了解」を演説

#### 2、「聖書研究会」と朝鮮人留学生

1922年前後から、「聖書研究会」に朝鮮人留学生(金  
教臣、宋斗用、楊仁性、鄭相薫、柳錫東、咸錫憲)  
が出席するようになる。



1926.9. 17、金教臣らが  
『『聖書之研究』朝鮮読書  
会』を発足

1927.7、金教信・咸錫憲ら帰国後、

#### ①『聖書朝鮮』創刊



1942年3月まで158号

#### ②無教会主義キリスト教運動を展開

↓韓国無教会キリスト教グループが  
成立し、その流れは今日に引き継がれる

#### 3、朝鮮人キリスト者への期待

「信仰のことに就ては朝鮮人は全体に日本人以上で  
あるやうに見える。多分わが信仰が朝鮮人の中に根  
ざして、然る後に日本に伝わるのであらう。少数の朝  
鮮学生を教へる丈けに聖書研究会を起こすの価値  
があった」(1929.1. 1日記)

#### 4、受け継がれる内村鑑三の思想

無教会主義キリスト教

↓「人工」的キリスト教ではなく

「自然」(手を加えない意味)的キリスト教

⇒近代化の問題

### 田中正造の思想

「真の文明は、山を荒らさず、川を荒らさず、村を荒らさず、人を殺さざるべし」

「デンキ明けて世間暗夜となれり」

⇒経済成長優先の近代文明を鋭く批判

### エピローグ

金泰昌氏は、田中正造の思想を

↓

「日本だけに独り占めするのはもったいない」と指摘し、田中の思想への関心と呼びかけている。その際、「内村鑑三」は一つの手掛かりとなるのではないか、と私は思う。

### 参考文献

- ・『内村鑑三全集40巻』岩波書店
- ・鈴木範久『内村鑑三日録』（教文館）
- ・鈴木範久『内村鑑三』岩波新書
- ・鈴木範久『内村鑑三をめぐる作家たち』玉川選書
- ・『予は下野の百姓なり』下野新聞社
- ・『金教臣全集』ブキ図書出版
- ・咸錫憲『死ぬまでこの歩みで』新教出版社
- ・黒岩比佐子『編集者国木田独歩の時代』角川選書